

審議会等の会議結果報告書

		課所名	生涯学習課
会議名	令和5年度第4回諏訪市子ども読書活動推進委員会 第4次子ども読書活動推進計画 第3回策定委員会		
開催日時	令和5年11月28日(火)午後3時00分～5時00分		
開催場所	諏訪市図書館 第1会議室		
出席者	(出席委員)竹内委員長・矢崎副委員長・赤羽委員・松井委員・後藤委員・加藤委員 (欠席委員)市川委員・飯田委員・八代委員・増田委員 (事務局)三輪教育長・細野教育次長・宮阪生涯学習課長・茅野図書館長・宮坂主査 (オブザーバー)草間教育委員		
資料	「第4次諏訪市子ども読書推進計画(修正案)」		
協議議題(内容)及び会議結果(要旨)			
<ol style="list-style-type: none"> 1、開会(宮阪生涯学習課長) 2、教育長あいさつ 3、協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1)第4次諏訪市子ども読書活動推進計画(修正案)の検討 4、その他 5、閉会 <p>＜主要意見＞</p> <p>○キャッチフレーズにある「ふかめる」が弱いのではないか。読書会やビブリオトークは「ふかめる」の具体策かと思う。また、保育園・小中学校・高校と「つながる」と思うのだが、保育園とのつながりが弱いのではないか。</p> <p>○評価指標の⑩について、学校で子ども主体の企画が行われたかどうかを計るもの、という理解を会で共有できた。</p> <p>○風樹文庫での子ども読書に関する企画について触れられているが、現状では子ども向けの会(おはなし会など)はない。風樹文庫は「種まくブック」の基にもなっている。岩波ジュニア新書などを取り上げた読書会を企画してもいいのでは。</p> <p>○基本方針④の「子どもの視点に立った」という表現について、文章の主体が大人であるように感じられるという意見が出たが、これらは国の法律や計画に出てくる表現であり、第4次計画でもそれに準じた表現を採用した、という説明がなされた。事務局で預かり、表現を検討する。</p> <p>○今回の計画には「諏訪の子どもが目指す姿」が明確に記されていないように思える。また、子どもが読書をしたその後のアウトプットについての具体策が少ない。第3次の計画の活動を通じて、子どもの読書をサポートする体制は整えられたと思う。それを土台に、「本を読んで、思いや考えを伝える」という次の力を育む方があれば良いと思う。</p> <p>○学校現場において、この計画をしっかりと受け取った状態で新年度の4月をスタートしたいという思いがある。新年度を迎える前に、計画の最終版を市内学校にいただければと思う。</p>			